

フィードバックからインスピレーションを得た「**新しいモダンルックと使用感**」を兼ね備えた

NEW EndNote™ 21

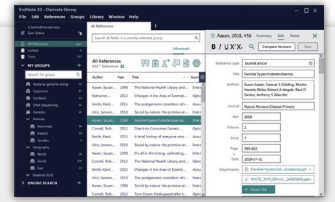
NEW

01

ライブラリの紛失や破損時の救世主 **復元機能**

ライブラリが失われたり、破損した場合でも、ライブラリを復元できるようになります。

併せて、単一の参照レコードを復元する機能も備えています。自身のライブラリにあるレファレンスに誤って変更を加えてしまったり、ライブラリを共有している人から望ましくない変更が加えられたりした場合、時間を巻き戻してレファレンスを以前の時点に復元することができます。

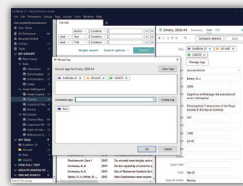


NEW

02

常に整理された状態を保つことができる **タグ機能**

様々なタグを使用し、自身のライブラリやグループ内のレファレンスをより分かりやすく整理することができます。



NEW

03

ライブラリ共有人数の増加

ライブラリ共有可能なユーザー数が、これまでの400人から、1,000人に

NEW

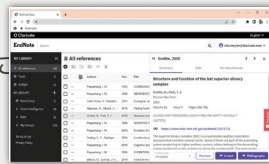
04

新EndNote Web

デスクトップ製品との整合性を高めるため、新しいEndNote Webを構築。

デスクトップから離れていても、新オンラインインターフェイスにアクセス可能になります。

※利用はEndNote 21ユーザーに限られ、購入日から3年間アクセス可能。



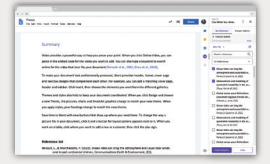
NEW

05

CWYWの拡張

Cite While You Write が Google Docs と Word Online の統合された文書作成ツールへ拡張されます。

※今後のアップデートで実装予定。



従来のEndNoteの全機能と柔軟性は、もちろんそのまま。

文献の収集・管理



PDFファイルの取り込み

学術文献データベースやフルテキストPDFから、文献情報を簡単に取り込み。

強力な検索機能

取り込んだPDFの本文も検索対象なので、キーワードを入力するだけで目的の文献が簡単に見つかる。

同期・共有



どこからでも自分のライブラリにアクセス

オンラインアカウントと同期することで、職場・自宅・外出先・iPad・iPhoneからアクセス可能。

文献共有に最適なライブラリ共有

共同研究や研究室内の他のEndNoteユーザーと、作成したライブラリを1,000人まで共有可能。

論文作成支援・引用



参考文献リストを自動作成

EndNoteに保存された文献情報をドラッグ＆ドロップで参考文献リストを瞬間作成。

投稿規定に沿った体裁に一発変換

ジャーナル名を選択するだけで投稿規定が変更されるので、投稿先の変更も簡単に可能。

EndNote™ 21 無料トライアルについて

<https://www.usaco.co.jp/endnote/demo.html>

EndNoteの良さを体験してね♪



▼お申込みページ



▼ トライアルで体験してほしい3つの操作 //

データベースからの取り込み方法

よく利用するデータベースからどのように文献情報をインポートできるか体験してください。面倒な手入力をすることなく、著者やタイトルなどの文献情報をまとめてインポートすることができます。

PDFの取り込み方法

文献情報を取り込んだ後、Find Full Textを使ったり、複数のPDFファイルを一括して取り込む方法を体験ください。PDFに書き込んだメモも検索して見つけることが素早くできます。

参考文献リストの作り方

例えば Word 文書にドラッグ＆ドロップするだけで参考文献リストを自動作成できます。ビュッとリストを挿入し、ジャーナルごとのアウトプットスタイルも簡単に変更できることをご確認ください。

〈お問い合わせ〉



オンラインショップ担当
shop@usaco.co.jp